

ひこね 市議会だより



令和元年9月定例会 (9月2日~10月9日)

- 9月定例会で決まったこと …… 2~6
- 代表質問 …………… 7~8
- 個人質問 …………… 9~18
- お知らせ …………… 19~20

10月9日に閉会した9月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案2件、決算3件、条例関係8件、その他議案10件、諮問2件を審査し、原案のとおり可決、同意、認定、適当と認めました。

また、請願1件を採択し、修正案1件を否決、会議案1件を否決、意見書案1件を可決しました。

9月定例会の結果

彦根城跡維持管理等委託業務（債務負担行為額）

8億6,006万9千円

彦根城跡の維持管理および誘客対策としての自主事業の実施、ひこにゃんの管理運営について、令和2年度から令和4年度までの間、外部委託するために必要な経費です。

※債務負担行為とは、複数年度にわたる契約を結ぶ場合など、あらかじめ後年度の支出について限度額と期間を定めるものです。（地方自治法第214条）



▲玄宮園から見た彦根城



▲調印式の様子

ホストタウン推進事業

38万5千円

2019女子ハンドボール世界選手権大会に出場するチームの事前合宿に係る必要な経費です。

(内訳)	所要額	現計額	
消耗品費	7万7千円	5万円	= 2万7千円
清掃委託料	35万8千円	0円	= 35万8千円

都市公園緑地維持管理事業

718万5千円

稲枝駅西口における都市公園の整備について、官民連携事業としての実現可能性調査を国の支援事業を活用して実施するために必要な経費です。

(内訳)	所要額	現計額	
普通旅費	18万5千円	4千円	= 18万1千円
調査等委託料	1,100万円	399万6千円	= 700万4千円

予算常任委員会

令和元年度（2019年度）
彦根市一般会計補正予算（第3号）等を可決

予算常任委員会は、9月17日に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第78号、議案第79号

【主な内容】

○議案第78号に対する質疑

Q 新たな交流先にも費用に関する基準を示すべきでは。

A 相手国の大使館に確認のうえ、決定している。

Q 彦根城の管理等を委託する事業者の選定スケジュールは。

A 10月から募集、11月、12月で審査。年内には決定したい。

A Q 彦根城の管理等を委託する理由は、働き方改革においてアウトソーシングが推進されており、この機会に彦根城の管理運営について検討した結果。

○議案第78号に対する討論

反対 彦根城跡維持管理等委託業務について、合理的な説明はなく、経費削減に繋がるのか疑問である。

国際交流推進事業について、現在世界遺産登録を目指している都市と交流すべきである。

彦根城博物館受付等委託業務について、直営の場合と比べても200万円くらいしか変わらない。守秘義務が課せられている公務員が行うべき業務である。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

「市庁舎耐震補強・増築・改修建築工事」一括入札で実施
〜三回の入札不調を受け方針変更〜

企画総務消防常任委員会は、9月18日と25日に委員会を開催し、7件の議案等について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第80号、議案第81号、議案第82号、議案第84号、議案第85号、議案第92号
- ・会議案第1号

【主な内容】

○議案第80号に対する質疑

Q 会計年度任用職員の対象となる臨時職員者数は。

A 今年4月1日現在でフルタイムの臨時職員が375人、パートタイムの臨時職員が486人である。

○会議案第1号に対する討論

反対 城山観覧料の値上げに反対するものではないが、そもそも執行部が提案するべき議題。現段階では値上げする材料が不足しているため反対する。

賛成 彦根城の管理を業務委託するこのタイミングで値上げすることは、彦根城の魅力を発信する絶好の機会であると考えるところから賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・会議案第1号は否決

【所管事務調査】

- ・本庁舎耐震化整備事業について
大久保市長から建築工事の入札方式について、抜本的な発注方法等の見直しの必要性があることから入札公告を10月に延期することと、これまで分離発注により3回の入札不調という結果を受け、次回の入札は一括発注方式とする方針変更が示された。

福祉病院教育常任委員会

彦根市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案等議案3件を可決、請願1件を採択

福祉病院教育常任委員会は、9月19日と10月9日に委員会を開催し、議案3件、請願1件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第86号、議案第87号、議案第100号
- ・請願第2号

【主な内容】

- 議案第86号に対する質疑
 - Q 保育料の無償化や、無償化のための申告の要否等、市民への周知は。
 - A 市のホームページや広報等により周知を図っていく。
- 議案第87号に対する質疑
 - Q 貸付利率1%の根拠は。
 - A 同じ性質を有すると思われる他制度や、県内他市の事例等を踏まえ決定した。
- 議案第100号に対する質疑
 - Q 採光や建物構造、グラウンドの面積等に問題はないか。
 - A 各種基準は満たしており問題なく、将来的な事も見据え、十二分に検討した結果である。
- 請願第2号に対する討論
 - 賛成 市長の公約にも関わってくる。おむつ等購入費助成事業要綱見直しへの反対署名5496筆を十分踏まえるべきであり、利用者や関係者の声もしっかり反映すべきであるため、賛成する。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決
- ・請願第2号は採択

議会改革特別委員会

栗見橋修繕工事請負契約の締結につき議決を求めること等議案6件を可決

市民産業建設常任委員会は、9月20日と10月9日に委員会を開催し、6件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第83号、議案第88号、議案第89号、議案第90号、議案第91号、議案第99号

【主な内容】

- 議案第99号に対する質疑
 - Q 栗見橋の耐用年数は。
 - A 建設されて約60年が経過している。今回の改修により架橋当時の性能に戻す。主な部材はさわらなため、耐用年数は架橋から100年程度と考えている。
 - Q 通行止めはいつからか。
 - A 自治会へ回覧による説明、および東近江市との協議も行い、平成28年10月14日から通行止めとした。
 - Q 京都の業者に決定したが、地元業者は参加されたのか。
 - A 市内外、県外からも参加し、決定。契約の相手方は、国等の橋梁補修工事の実績が多数ある。
- ・【結果】
- ・議案はいずれも原案のとおり可決

委員会内に議会ICT化活用プロジェクトチームを立ち上げた

9月2日に開催した委員会では、「議会ICT化の取り組みについて」を議題とし協議した。議会改革特別委員会内に議会ICT化活用プロジェクトチームを立ち上げた。構成員は各会派から1名ずつ選出し、議長を加え6名とし、今後タブレットを含むICTの更なる活用に向け、課題を抽出し議論を進めていく。

平成30年度の各会計決算を認定

議案第93号、議案第94号、議案第98号の審査のため決算特別委員会を設置し、10月2日・3日・4日に委員会を開催しました。

委員長：谷口 典隆 副委員長：矢吹 安子
委員：中川 睦子 和田 一繁 中野 正剛 堀口 達也 伊藤 容子 小川 吉則 杉原 祥浩 林 利幸

委員からの主な質疑の概要

企画総務消防常任委員会が所管する事項



【歳入】 広告料収入の内訳、市民税および固定資産税の収入未済額の増加理由や滞納繰越分の件数と取組実績などについて。

【歳出】 地域おこし企業人交流プログラム負担金の増額理由、特別顧問の勤務実績や彦根城世界遺産登録推進への影響、美しい彦根創造事業の登録者数や事業実績、消防団の車両更新にかかる旧車両の処分方法、職員研修の参加実績と参加促進のための手段、働き方・業務改革推進経費の調査委託料内訳、選挙啓発にかかる取組内容とその成果、彦根駅西口仮庁舎の光熱水費の内訳、同報系防災放送設備設置委託料にかかる事業概要、婚活支援事業および移住推進事業の取組内容とその効果、国スポ開催地への視察内容と成果、シティプロモーションにかかる戦略策定の効果などについて。

市民産業建設常任委員会が所管する事項



【歳入】 農業次世代人材投資事業の対象者数やその成果、土地建物売払収入および物品売払収入の内訳、一般廃棄物処理施設整備基金利子収入の概要などについて。

【歳出】 住もうよ！ひこねリフォーム補助事業の経済波及効果、近江美食都市推進プロジェクト事業の稼働実績、愛のりタクシーの利用者推移、市営住宅の充足率に対する評価、レンタサイクル事業の利用実績やひこにゃん商標管理事業のうちアプリケーション運用の実績と評価、ヒューマンアクターの報酬と業務内容、観光推進事業の広告宣伝委託料および誘致宣伝委託料の委託先とその効果、石寺稲里線道路改良事業の進捗などについて。

国民健康保険特別会計および下水道事業特別会計の収入未済額が前年度より減少した要因、水道事業会計の大藪浄水場コントロールセンター更新事業の進捗などについて。

福祉病院教育常任委員会が所管する事項



【歳入】 成年後見制度法人後見支援分にかかる実績などについて。

【歳出】 図書館視聴覚ライブラリーの資料保存期間や管理体制、特別障害者手当等支給事業の受給者数とその周知方法、彦根城博物館特別展の概要や広報宣伝手法、荒神山自然の家管理運営事業の詳細、老人クラブ活動補助金の交付実績、保育所費等の臨時職員雇用実績、いじめ等問題行動対策事業と不登校対策事業の取組内容、軽度・中等度難聴児支援事業の概要、小中学校の光熱水費の内訳、社会福祉法人指導監査業務等委託料の概要、国際理解教育推進事業の取組状況、動く図書館たちばな号運行の実績などについて。

彦根市病院事業会計の破産更生債権および未収金、特別損失の内訳、訪問看護ステーションの取組内容、病院移転新築事業費の未償還残高額などについて。

討論

【反対】 議案第98号に対する反対の立場から、ヒューマンアクター制度のあり方に疑問であり、すでに終結した同和対策事業を継続しているとしか思えない。また、耐震工事が済んで間もない市民体育センターが取り壊されることに反対の立場であることから、当該事業費が含まれた決算には反対するとの討論がありました。

結果

- ◎議案第93号・第94号については異議なく原案のとおり認定。
- ◎議案第98号については起立採決の結果、起立多数で原案のとおり認定することに決まりました。

9月定例会 議案の審議結果

会期：9月2日～10月9日

■全員賛成の議案等

項目	番号	件名
議案	79	令和元年度(2019年度)彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
	80	彦根市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当および費用弁償に関する条例案
	81	彦根市第2号会計年度任用職員の給与および旅費に関する条例案
	82	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案
	83	彦根市印鑑条例の一部を改正する条例案
	84	彦根市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例案
	85	彦根市消防に関する手数料条例の一部を改正する条例案
	86	彦根市立保育所設置条例等の一部を改正する条例案
	87	彦根市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案
	88	市道路線の廃止および認定につき議決を求めることについて
	89	滋賀県市町村交通災害共済組規約の変更に関する協議につき議決を求めることについて
	90	滋賀県市町村交通災害共済組合の解散に関する協議につき議決を求めることについて
	91	滋賀県市町村交通災害共済組合の解散に伴う財産処分に関する協議につき議決を求めることについて
	92	財産の取得につき議決を求めることについて
	93	平成30年度(2018年度)彦根市病院事業会計の決算につき認定を求めることについて
	94	平成30年度(2018年度)彦根市水道事業会計の決算につき認定を求めることについて
	95~97	彦根市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
99・100	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	
諮問	1・2	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
請願	2	彦根市おむつ等購入費助成事業実施要綱をはじめとする彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の見直しにあたっては市民の意見を反映することを求める請願
意見書	1	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書案

■議会に提出された報告

項目	番号	件名
報告	13	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について
	14	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて
	15	和解および損害賠償の額の決定について
	16	平成30年度(2018年度)一般財団法人彦根市事業公社の決算状況について
	17	第31期彦根総合地方卸売市場株式会社の決算状況について
	18	第22期株式会社夢京橋の決算状況について
	19	第16期株式会社四番町スクエアの決算状況について
	20~24	市の債権の放棄について
	25	平成30年度(2018年度)主要な施策の成果、事務報告書および基金運用状況報告書について
	26	平成30年度(2018年度)彦根市の健全化判断比率等について
	27	市の債権の放棄について

■賛否が分かれた議案等

(○：賛成 ●：反対 ー：議長)

項目	番号	件名	結果	議員名																						
				辻真理子	中川睦子	角井英明	獅山向洋	堀口達也	北川元気	上杉正敏	中野正剛	杉原祥浩	谷口典隆	和田一繁	野村博雄	森野克彦	林利幸	森田充	小川吉則	矢吹安子	赤井康彦	小川隆史	黒澤茂樹	伊藤容子	馬場和子	長崎任男
議案	78	令和元年度(2019年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)	可決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	98	平成30年度(2018年度)彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めることについて	認定	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
修正案	1	議案第78号 令和元年度(2019年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)に対する修正案	否決	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●
会議案	1	彦根市城山観覧料徴収条例の一部を改正する条例案	否決	○	●	●	○	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●



質問者
杉原 祥浩議員

公 政 会

Q 道路整備など
国スポ関連事業進捗は

A 令和6年大会開催までの
完成を目指す

Q 彦根で開催される国スポ・障スポの主会場用地の取得状況は。また、関連事業として、ハンドボールと弓道の競技会場となる新市民体育センター整備、外町交差点の渋滞緩和策として県が事業を進める外町バイパス整備の進捗状況は。

A 主会場および周辺道路の用地買収は一部完了していないものの、土地所有者には一定のご理解をいただいております、引き続き取組を進めていく。

新市民体育センターは、令和4年度からの供用開始を予定している。ただし、外構工事については同年度中の完了を目指している。

名神彦根ICと国道8号古沢町交差点を結ぶ、全長1700メートルの都市計画道路原松原線（外町バイパス）については、全体の約7割を占めるトンネル工事を今年度発注済みで、国スポが開催される令和6年までの完成を予定している。



▲都市計画道路原松原線（外町バイパス）の完成予想図

Q スペインとの
ホストタウン事業は

A 1月に女子ハンドボールが
市内合宿

Q 東京オリンピック・パラリンピックに向け、スペインを相手国として取組が進むホストタウン事業のうち、スペイン女子ハンドボールチームとの交流内容は。受入体制や練習場所などの施設提供に関する進捗、市民の関心を高めるための方策についても見解を示されたい。また、ジョージア国ムツヘタ市との、今後の交流事業や市民が参加できる活動は計画されているのか。

A スペイン女子ハンドボールチームは熊本県で開催される世界選手権のための事前合宿として11月23日から29日まで市内に滞在予定で、彦根総合高校を練習場所として利用される。合宿期間中には市民と触れ合える機会を設け、青少年向けハンドボール教室の開催を予定している。またムツヘタ市とは昨年10月、観光と歴史資産活用分野での覚書を締結。今後、交流に向けた協議を始める。



▲事前合宿を行うスペイン女子ハンドボールチーム

その他の質問

- ・市庁舎耐震工事の遅れについて市長の責任は
- ・民間活力を導いた図書館運営について
- ・公用車の事故を減らす取組は

夢みらい



質問者
矢吹 安子議員

Q おむつ等購入費
助成制度の見直しを

A 今後、協議会と
意見交換を行う

Q おむつ等購入費助成制度はいつから始まり、平成30年度の利用件数、支給額は。さらに支給要件として要介護3〜5、障害高齢者の日常生活自立度B・C、認知症高齢者はⅢ・Ⅳ・M、所得制限は介護保険の自己負担割合1割、支給額は4500円の改正の根拠を。彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会からの見直し反対署名への対応は。予算資料の事業見直し一覧に入らない理由は。

A 介護保険制度と同じ平成12年4月からスタート。平成30年度の利用件数1万4189件、支給額5463万円。国の要綱改正により介護用品の支給の廃止・縮小の検討を求められたことから、介護度、所得制限、助成額の大きく3点について見直しを行った。協議会の反対署名には今後意見交換を行っていく。見直し事業一覧には、廃止、削減した事業のみを掲載した。



彦根市おむつ等購入費助成制度改正周知文(表面)

Q 防災スピーカーの
今後の整備は

A 今後も引き続き
必要な個所に設置

Q 8月15日の台風10号による避難所開設は、6カ所の地区公民館と福祉センター・亀山出張所の8施設が開設されたが、2公民館を開設しなかった理由と、避難所の備蓄品の量と不足する場合の対応は。昨年度から導入された防災スピーカーは、平成30・令和元年度で36カ所に設置された。緊急防災・減災事業債が終了したときでも、市内にきめ細やかな情報を伝達するために防災スピーカー設置を。

A 台風時に8カ所の公民館等を開設したが、中地区・南地区公民館を開設しなかった理由は、平屋建てであり浸水想定区域内に所在しているからである。備蓄品は家庭で3日分、避難所には避難者1日分の食料。備蓄目標の不足は民間から供給していただく。災害用屋外放送設備の防災スピーカーは情報伝達手段のさらなる充実を図るため今後も引き続き必要な箇所に設置していきたい。



情報伝達拡声設備イメージ

その他の質問
・彦根市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
・全国学力テストについて

市政について
質す!

9月定例会個人質問

19人の議員が、市政に対する個人質問を行いました

各議員が決める

質問の内容は、議案とは関係なく議員個人が決めます。

制限時間は30分

議員1人あたりの発言時間は30分です。一問一答方式で行い、答弁は市長や各部長等が行います。

動画で見る

市議会のホームページから、個人質問等の様子をライブ・録画中継で見ることができます。



<http://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/>

確保することが必要と考える。

A 高齢化が進むと予想されるなか、介護保険制度をはじめとして制度の持続可能性を確保することが必要と考える。

Q 「全国一の福祉モデル都市」として、従来のおむつ等購入費助成事業を継続すべきでは。

A 介護の現場において多くの方がおむつの必要性を実感しておられる結果と考える。関係機関と話し合いを重ね様々なご意見を聞いていきたい。

Q 見直し反対の署名が提出されたが、どう受け止め、今後どう対応するのか。

A 介護の現場において多くの方がおむつの必要性を実感しておられる結果と考える。関係機関と話し合いを重ね様々なご意見を聞いていきたい。

Q 国の交付金要綱改正とはどういうものか。

A 事業実施の要件のひとつが「低所得世帯への影響も考慮しつつ、任意事業としての介護用品の支給に係る事業の廃止・縮小に向けた具体的な方策を検討していること」とされ見直しに至ったものである。

Q 国の交付金要綱改正とはどういうものか。



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

A 制度の持続可能性の確保が必要

Q 市のおむつ等購入費助成事業の継続を



▲しが彦根新聞社提供

その他の質問

- 暮らしに負担を強いる新市民体育センター建設の見直しについて
- 図書館の早期建設をすべきでは



小川 隆史議員
市民産業建設常任委員会

Q 新市民体育センターおよび福満公園への防犯カメラの設置は。

A 新市民体育センターには、建物内部への設置だけでなく、施設外部についても、適宜設置し、防犯対策に資するよう検討する。福満公園も、これまで公園には設置の事例はないが、設置を検討する。

Q 防犯カメラに検知器機能を付加することで、子どもの下校時の安全対策、認知症の方の行方不明対策としては。

A 効果はあると考えるが、利用者の費用負担や広範囲での設置等課題も多い。検知器機能を付加した防犯カメラの導入については、関係部署と研究・検討していく。

A 新市民体育センター
福満公園に設置検討する

Q 彦根市における
防犯カメラの設置について



▲探知器機能のついた防犯カメラ(加古川市HPから)

その他の質問

- 彦根市のRPA(ロボティック プロセス オートメーション)の活用について



伊藤 容子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 公共交通の現状は。

A 利用人数は、バス運行路線はほぼ前年と変わらず、愛のりタクシーは前年比約25%増。

Q バス運転手不足の対策は。

A 以前は6人不足で、バス路線廃止後の現在は解消したが、高齢の運転手も多く、現路線の運行維持が課題。バス運転手が地域に必要とされる職業と広く知らせて、興味をもってもらおう取組が必要。

Q 高齢者の買物等の移動支援の取組や市等の連携の展開は。

A これまで市関係課・社会福祉協議会が公共交通と移動・外出支援の課題や対策について協議してきたが、今後は、タクシー等サービスの提供者や福祉有償運送事業所、地域の活動団体、介護保険サービス事業所等も参加いただき、高齢者移動手段の支援策の1回目の会議を10月に開催予定。

A 市や移動・外出支援の関係者で取組を協議

Q 高齢者の買物等の移動支援について取組は



▲おたがいさんさん号

その他の質問

- H31年度全国学力テストの結果と見解は
- 学力向上・授業力向上についての取組は
- 現清掃センターの解体後の跡地活用は



森田 充議員
企画総務消防常任委員会

Q 24年前の学校設立コンセプトは。

A 分離新設校として平成8年に開校、地域の関係においても共生の関係を育てていくという機運の中で ①教育内容と方法の多様化、情報化に対応できる施設 ②ゆとりと潤いのある学校環境 ③地域との共生の関係が育つ施設 ④まちの顔として極めて高い文化性、シンボル性を有している施設 ⑤国の小学校施設整備指針に基づいた施設という5つのコンセプトを設定し整備したものである。

Q 地域の方々とのお話しの中で若葉小学校はいずれ老人保健施設になるのではという事を聞いたが見解は。

A 5つのコンセプトの中で設立し転用の計画はない。

A 5つのコンセプトを設定し整備

Q 若葉小学校の設立コンセプトは



▲若葉小学校外観

その他の質問

- ・国スポ・障スポの基
本方針は
- ・大会運営ボランティア
アの考え方は
- ・子どもたちの大会参
画の考え方は



中川 睦子議員
市民産業建設常任委員会

Q 各クラブで指導員の確保はできているのか。

A いずれのクラブも確保できている。

Q 指導員の休息のための別室の確保が必要ではないか。

A 平日は勤務時間6hを超えないため必要ない。

Q 各クラブの切実な要望にどう応えるのか。

A 予算は優先順位で対応し、亀山小学校の冷蔵庫は購入予定。その他は状況を見ながら検討する。

Q 来年度以降の事業者選定は。

A 次年度以降の債務負担行為予算については、本定例会に上程しており、議決後、速やかに募集と選定を行い年内に事業者を決定する。

Q 市内NPOと直営の形で責任を持つことこそ必要では。

A 従来の方式に戻すことは考えていない。

A 現時点では予算の状況を見ながら検討

Q 各クラブの要望に市はどこまで応えるのか



▲クラブの大切な遊具「一輪車」

その他の質問

- ・放課後児童クラブの
充実を
- ・公園での危険な除草
剤使用は見直しを
- ・弱者にやさしい移動
手段の確保を





野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 交差点での事故発生状況の把握と、事故防止対策は十分か。

A これまでの指摘も踏まえ、警察や自治会と一層緊密な連携を図り、安全対策が進められるよう努めている。

Q 市道の側溝の維持管理は適切に行われているか。

A 責任は市にあるが、掃除等日常的な維持管理は地域の皆様にお願している。

Q 少子高齢化が進み、地域での清掃等が困難になってきている状況への対応策は。

A 市が保有している側溝蓋の蓋上げ器貸し出し等の支援を周知していく。また、人的支援や、個人の自発的改修、器具購入への補助については現在では考えていないが、今後、少子高齢化が進む中でどのような支援ができるのか模索していく。



対策推進と時代に合った維持管理を模索する



市道の安全対策や側溝の維持管理は十分か



▲市が保有している蓋上げ器

その他の質問

- ・特殊詐欺被害防止への取組について
- ・通園・通学の安全確保について
- ・河瀬公園の整備について



上杉 正敏議員
市民産業建設常任委員会

Q 城陽学区における通学路の現状をどう見るか。

A 県道八坂高宮線・開出今町交差点から開出今町西交差点間の通学路については、通学路交通安全プログラムのも要対策箇所として挙がり、滋賀県による路肩のグリーンベルト化や横断歩道のグリーン化等のハード面の対策とともに、子どもへの安全指導等を行ってきており、安全確保を進めてきていると考えている。

Q 通学路の見直しについての今後の課題と対策は。

A 整備については、水路にグレーチングを設置し、里道部分を舗装する案、用地を無償提供していただき道路を拡幅する案の2案を提案しており、いずれも関係皆様のご理解ご協力が必要となるため、自治会の希望に沿いながら協議していく。



地元自治会の希望に沿いながら協議していく



交通安全対策として通学路の見直しをしては



▲安全対策が進められる通学路

その他の質問

- ・自動車保険加入の促進について
- ・ドライブレコーダー設置の促進について
- ・子どもの発達障害について

個人質問



谷口 典隆議員
企画総務消防常任委員会

A 各種工事の仕様書で
市内業者選定を明記する

Q 公共工事や資材調達には
市内業者を優先的に

Q 市内に本社・本店を置く事業者から「現在の入札制度では市内の事業者に優位性がない」との声も上がるが見解は。

A 市内の入札参加資格者名簿への登録業者が入札に参加できる機会は一定確保しているが、競争性が確保されない業種の工事は準市内業者等に拡大して業者を選定している。

Q 地元企業優先発注等に係る実施方針に基づき、市内業者を優先した入札を求めるが。

A 地域経済活性化のためにも市内企業への優先発注は重要。各種工事における仕様書などで、各種下請け業者や製造所等、市内で供給できるものは極力市内業者を選定するよう明記する。また市庁舎耐震化建築工事に係る入札においても同様に明記の上、落札業者には市内業者からの資材や備品の調達を促していく。



▲耐震化工事で、市が地元業者への優先発注方針を示している市庁舎

その他の質問

- ・業務委託後、彦根城職員の継続雇用は
- ・市内在住の市職員を増やす対策は
- ・入札制度について経済団体との協議は



森野 克彦議員
市民産業建設常任委員会

A 望まない受動喫煙の
防止に向けて取り組む

Q 受動喫煙防止に
向けた今後の方針は

Q 市の第一種施設の対応は。

A 市が管理する学校、病院、児童福祉施設については、敷地内全面禁煙としているが、本庁舎等の10施設については、受動喫煙をなくすための必要な措置等を講じた上で、敷地内の屋外に限定して、喫煙所を設置している。

Q 市の第二種施設の対応は。

A 施設の区分によらず、原則敷地内全面禁煙とするが、特別史跡彦根城跡内、ひこね市文化プラザ等の8施設については、受動喫煙をなくすための必要な措置等を講じた上で、敷地内の屋外に限定して、喫煙所を設置している。

Q その他の施設の対応予定は。

A 金亀公園、荒神山公園に現在設置されている喫煙所は、来年3月末で撤去し、市の公園は全て敷地内全面禁煙とし、喫煙所も設置しない。



▲受動喫煙の恐れがある市が設置する喫煙所

その他の質問

- ・佐和山学区の通学路拡張工事について
- ・夏休み等における学童保育の開所時間の変更と保護者の弁当負担の軽減について



獅山 向洋議員
企画総務消防常任委員会

Q 彦根城の民間委託で臨時職員の雇用はどのようになるのか。
A 大半が継続雇用を希望している。業者に継続雇用をお願いする。
Q 業者との契約に雇用確保条項を入れるべきではないか。
A 契約書には入れない。
Q 文化庁に民間委託の可否を問い合わせたか。
A 問い合わせしていない。
Q 世界遺産登録に影響すると思えなかったのか。
A 日常業務の委託なので影響はないと考えている。
Q 戦時中に彦根市は井伊家に万全の保全施策を約束して彦根城の寄付を受けた。井伊家に対し礼儀を尽くしたか。
A 日常業務の委託なので特に話はしていない。
Q 雇用確保のため観覧料の値上げを考えなかったのか。
A 考えたことはない。



▲民間委託される彦根城

Q 彦根城の民間委託で臨時職員の雇用はどのようになるのか。
A 大半が継続雇用を希望している。業者に継続雇用をお願いする。
Q 業者との契約に雇用確保条項を入れるべきではないか。
A 契約書には入れない。
Q 文化庁に民間委託の可否を問い合わせたか。
A 問い合わせしていない。
Q 世界遺産登録に影響すると思えなかったのか。
A 日常業務の委託なので影響はないと考えている。
Q 戦時中に彦根市は井伊家に万全の保全施策を約束して彦根城の寄付を受けた。井伊家に対し礼儀を尽くしたか。
A 日常業務の委託なので特に話はしていない。
Q 雇用確保のため観覧料の値上げを考えなかったのか。
A 考えたことはない。

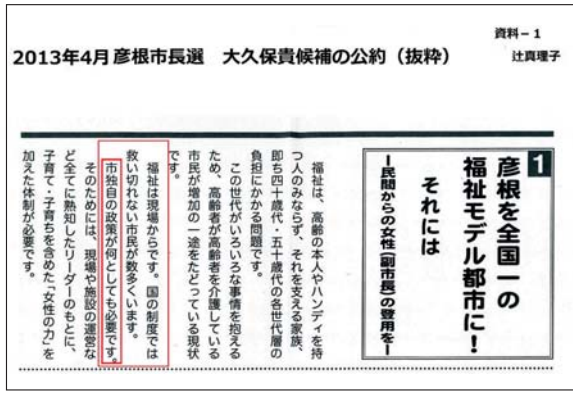
その他の質問

- ・ひこねやん一括委託は業者の要求ではなかったのか
- ・指定管理者制度は考えなかったのか
- ・民間委託は市の観光政策の放棄では



辻 真理子議員
福祉病院教育常任委員会

Q 要介護者向けのおむつ等購入助成見直しの詳細は。
A 利用者負担割合を1割の方とするとともに、助成対象者の要介護区分を原則として要介護3から5とし、助成金の上限を4500円とした。
Q 県内近隣市町の対応は。
A 時期未定9市町、見直し予定なし5市町と聞いている。
Q 5496人の署名をどう受け止めているか。
A 介護の現場で多くの方がおむつの必要性を実感している結果と考える。
Q おむつ等助成の国・県の支出額減額の対応は。
A 高齢者保健福祉協議会での議論を踏まえ、市独自施策の必要性を検討したい。(福祉保健部長答弁)
Q 市長の公約なので、市長ご自身で答弁を。
A 部長答弁のとおり。



▲市長公約

Q 要介護者向けのおむつ等購入助成見直しの詳細は。
A 利用者負担割合を1割の方とするとともに、助成対象者の要介護区分を原則として要介護3から5とし、助成金の上限を4500円とした。
Q 県内近隣市町の対応は。
A 時期未定9市町、見直し予定なし5市町と聞いている。
Q 5496人の署名をどう受け止めているか。
A 介護の現場で多くの方がおむつの必要性を実感している結果と考える。
Q おむつ等助成の国・県の支出額減額の対応は。
A 高齢者保健福祉協議会での議論を踏まえ、市独自施策の必要性を検討したい。(福祉保健部長答弁)
Q 市長の公約なので、市長ご自身で答弁を。
A 部長答弁のとおり。

その他の質問

- ・彦根城の管理運営に関する債務負担行為について

個人質問



赤井 康彦議員
福祉病院教育常任委員会

Q 福満公園への健康遊具の設置についての見解は。

A 既存公園の限られた区域内でグラウンドゴルフができる広場区域の拡張や、幼児および児童用の大型複合遊具の整備を行う予定で健康遊具についてもベンチを兼ねた遊具などを設置する。

Q 防犯カメラを設置できないか。

A 防犯カメラの設置を検討する。

Q 周辺の利用団体が合同で使える倉庫の整備は出来ないものか。

A 鍵の受け渡し等整理すべき課題はあるが整備予定の倉庫のスペースの活用は可能。

Q 整備のスケジュールは。

A 今年度に大型遊具の整備。令和2年度にグラウンドゴルフのできる芝生の整備をしていく。



遊具、倉庫、芝生を整備し
防犯カメラを検討



福満公園の整備は



▲福満公園のイメージ図

その他の質問

- ・シンボリックな農業振興条例の制定が出来るか
- ・新市民体育センター交流棟への漫画の設置について



北川 元気議員
企画総務消防常任委員会

Q 工事が中断されて一年以上が経過し、廃墟のような状態で放置され、市民や観光客にまで情けない姿をさらし続けている。私たちの彦根市役所本庁舎は、8月7日に3回目の入札不調という最悪の結果となったが、大久保市長はこの責任をどう考えておられるのか。

A 3回目の入札に当たっては、事前に登録業者に対してアンケートを実施し、現地見学会の開催案内や入札参加意向の確認を行うなど、さまざまな対応を行いながら進めたが、不調という結果は、大変残念に思うとともに重く受け止めている。現在も、次の入札に向けて検討、準備を進めているが、本件工事をできる限り早期に再開し、一日も早く事業を完成させることが私の責務であると認識している。



事業を一日も早く
完成させることが私の責務



庁舎耐震3度目の
入札不調の市長責任は



▲議場内の彦根市長の標柱

その他の質問

- ・新ごみ処理施設建設地の選定は
- ・彦根城とひこにやんの民間委託について
- ・動画での市の情報発信を求めて



黒澤 茂樹議員
企画総務消防常任委員会

Q 地域の福祉力を向上させるため
互助の取組は

A 地域の実情に
地域の実情に
様々に
対応して
いる

Q 地域の福祉力を向上させるため互助についての取組は。

A 地域とのつながりが強く、様々な地域資源の活用に向けた彦根市社会福祉協議会に業務委託し、公的サービスだけでは担いきれない地域づくりへの柔軟な活動を展開している。その取組例として地域でのサロンや高齢者宅への見守り訪問、地域での課題を共有する「地域見守り合い活動」などの取組を行っている。

Q 福祉事業に係る手続や申請で支所・出張所においてテレビ電話形式で対応できないか。

A 技術的には可能であるが現状はプライバシーに配慮した対応が出来ない状況である。

Q 市長が積極的に進めるように指示すべきと思うが如何か。

A 設備や環境にも配慮が必要であるが進める方向でしっかりと指示する。



▲地域福祉計画と本年度予算

その他の質問

- ・ 暫定予算により支障が出た市民サービスへの対応は
- ・ 市長公約である福祉日本一にどう取り組むのか

Q 図書館での視覚障害者等の読書環境の整備を

A 今後、読書環境の整備を図っていく



中野 正剛議員
企画総務消防常任委員会

Q 令和元年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」が成立し、施行された。現在の彦根市立図書館での点字書籍、拡大図書の利用状況はどうか。

A 管理上、貸出人数の統計は把握していないが、貸出冊数は点字図書が年間49冊、拡大図書は年間927冊である。

Q 県立視覚障害者センターと連携して、点字図書などの内容の充実を図れないか。

A 県立視覚障害者センター内の点字図書館では、小説・エッセイから専門書まで、幅広いジャンルの図書を、点字やCDにして貸し出している。

本市図書館としては、法律の施行を受けて、県立視覚障害者センターに所蔵されている資料を把握したうえで、お互いにサービス向上が図れるような連携を図っていく。



▲彦根市立図書館の点字図書・LLブック

その他の質問

- ・ 心に残るふるさと納税返礼品の種類を増やしては
- ・ 話せるいいのすけの活用を

個人質問



堀口 達也議員
福祉病院教育常任委員会

Q ラウンドアップについて、苦情や反対の声は何件あり、どのように対応されたのか。

A 電話では50件以上、メールでは33件あった。直ちに作業の中止を決定し、使用薬剤を変更することを伝えた。

Q ラウンドアップとは、モンサント社が開発した除草剤で、発がん性があるとされるグリホサートを使用しているが、人体や環境、生態系に大きな影響を与える可能性のある危険な薬剤の使用を今後どのように考えていくのか。

A 市としては、安全基準をクリアしているため、危険性はないとの認識。使用は、マニュアルを参照し、事前に周辺住民に対して農薬散布日時や目的、使用農薬を周知し、風のない日時を選び飛散防止に努め、市民の安全を図る。

A 電話では50件以上、メールでは33件

Q ラウンドアップに対する苦情や反対の声は



▶ラウンドアップ散布の案内

その他の質問

- ・西川貴教氏との対談と花火大会について
- ・稲枝地区都市公園の官民連携について
- ・未来の地方交通Ma a Sの認識は



和田 一繁議員
市民産業建設常任委員会

Q 目標の入山者数を達成した場合の成功報酬はいくらなのか。

A 入山者数が90万人に増加した想定での成功報酬は、年度ごとに判定し、3年間とも90万人の入山者で算定した観覧料収入を達成できれば、各年度で約1295万円、3年間では約3887万円の積算となる。

Q 彦根城の観光誘客を展開されている他事業所、団体との成功報酬の整合性は。

A 観光誘客を展開されている関連団体には、観光協会等が該当するものと考えているが、これらの団体に対してはインセンティブという形での支払いはないが、これまでからの協力体制の中で、取組事業への補助や人材派遣といったそれぞれ必要に応じた形での支援を行っている。

A 3年間で約3887万円の積算となる

Q 目標の入山者数を達成した場合の成功報酬は



▲令和4年度末までに入山者数90万人を目標とする彦根城

その他の質問

- ・ひこねやんの管理運営について
- ・彦根城における危機管理について



林 利幸議員
企画総務消防常任委員会

中学生派遣団の現状は。

A 1978年から派遣が始まり毎年実施している。今年度も例年通り派遣する予定だったが、予算確保が6月後半となったことでスケジュールを見直すことも視野に入れ関係各所と調整を重ねたが、安全かつ効果的に事業を実施するために必要な準備期間を確保できないことから、実施を見送った。現在は次年度の事業について調整を進めている。

Q 今後の事業展開の考えは。

A 8月18日に姉妹都市提携50周年記念式典および記念交流会を本市で実施した。今後はこれまでの事業内容および効果を検証しながら引き続き初期の志を忘れず、若い世代の国際的な素養を育成する事業として展開していきたい。

A 今年度は派遣を見送ったが次年度に向け調整中

Q アナーバー市への中学生派遣団の現状は



▲彦根市・アナーバー市姉妹都市提携50周年記念式典の様子

その他の質問

- ・選挙の投票率について
- ・選挙の開票作業について
- ・ヒューマンアクター制度について



小川 吉則議員
福祉病院教育常任委員会

LGBTについて相談する場合は、どの部署が担当か。

A まず人権政策課が窓口となり、内容により各課・各機関と協力、連携して対応する。

Q 彦根市において、LGBTに対する施策はあるのか。

A 本市では、人権のまちづくり懇談会等の様々な機会を通じ、人権の教育および啓発を進め互いの違いや多様性を認め合い、豊かにつながり合うことのできるまちづくりに取り組んでいる。LGBTについては、現行の政策の中で対応する。

Q 小学生や中学生に対する取組はどうなっているか。

A 小・中学校ともに、定期的な教育相談を実施し、いじめ問題や性の違和感など、毎日の生活を送るうえで生じた悩みや不安を相談できる体制を整備している。

A 現行の政策の中で対応する

Q LGBTに対する施策は



▶ LGBTの啓発チラシ（公益財団法人人権教育啓発推進センター）

その他の質問

- ・同性パートナーシップ制度について
- ・旭森学区（中山道）通学路の安全対策について

彦根市への行政視察受入状況について

彦根市議会では、全国各地の議会から行政視察を受け入れています。
令和元年8月から11月までの状況についてお知らせします。
(受入予定分については、変更する可能性があります。)

視察日	議会名	視察項目
8. 2	埼玉県桶川市議会	議会改革について
8. 6	香川県三豊市議会	議会改革について
8.19	岐阜県関市議会	「我が事・丸ごと」の地域づくり事業について
10.15	大阪府南部市議会議長会	子ども議会、議場コンサート、議会報告会について
10.17	青森県八戸市議会	子ども議会、議場コンサート、議会報告会について
10.25	埼玉県北本市議会	子どもの貧困対策計画について
10.30	千葉県船橋市議会	子どもの貧困対策計画について
10.31	滋賀県大津市議会	彦根市歴史的風致維持向上計画について
11. 5	群馬県みどり市議会	湖東圏域公共交通活性化協議会による愛のりタクシーについて
11. 6	佐賀県鹿島市議会	予約型乗合タクシー(愛のりタクシー)について
11.14	埼玉県蓮田市議会	タブレットの導入と活用について
11.15	東京都立川市議会	予約型乗合タクシー(愛のりタクシー)について
11.19	宮城県多賀城市議会	子どもの貧困対策計画について
11.20	大阪府泉大津市議会	議会改革について

9月定例会追加議案に対しての個人質疑等

議案第98号に対して獅山 向洋議員から個人質疑があった。
また、10月9日には、獅山 向洋議員から動議があった。

彦根市防災訓練に参加しました！

昨年、「彦根市議会における災害発生時の対応要領」および「彦根市議会における災害発生時の行動マニュアル」を策定しました。

その運用を基にし、8月24日(土)に開催された彦根市防災訓練へ参加するとともに、「安否確認訓練」を行いました。

訓練の様子



▲非常招集訓練の様子



▲一斉防災行動訓練
(シェイクアウト訓練)の様子

第28回議場コンサートを開催します

市議会では、市民の皆さんに議会に親しんでいただくことを目的に、議場を使ってコンサートなどを開催しています。

今回は、令和元年12月定例会の開会日（12月2日）に開催します。

議場コンサートは、事前申し込み不要です。数に限りはございますが、議員席にもお座りいただけます。

第28回議場コンサート（予定）

- 日時 12月2日(月) 13時から13時30分
- 場所 彦根市議会議場（市役所本庁舎5階）
- 出演 イルクオーレ
- 内容 ソロ声楽・ピアノ独奏等



議会報告会を開催します

市民の皆さまに市政に関する情報をお知らせし、様々な意見をお伺いするため、議会報告会を開催します。

担当議員

野村 博雄・赤井 康彦
小川 吉則・辻 真理子
堀口 達也・角井 英明
馬場 和子・伊藤 容子



第30回議会報告会（予定）

- 開催日 1月13日(月・祝) 午後
- 場 所 ビバシティ彦根 2階 研修室1・2
- テーマ 子どもの学力向上について

※今年度内に第31・32回も開催する予定です。

詳細は決定次第、下記に掲載します。

彦根市HP（彦根市議会）

<https://www.city.hikone.lg.jp/shisei/gikai/index.html>



編集後記

9月定例会では、合計23議案につき慎重に審議を行いました。会派「公政会」と「夢みらい」が代表質問を行い、また、19名の議員が市民の皆様からお寄せいただいた声をもとに個人質問を行いました。引き続き皆様の声を市政にしっかりと反映できるよう、日々研鑽を重ねてまいります。

さて、今号の表紙には、#lovehikoneでInstagramに投稿いただいた写真を採用しました。私たち議員も彦根のイイところをどんどん発信していければと思っております。

広報委員会



次の定例会は 12月です

本会議・委員会の日程(予定)

月 日	内 容	時 刻
12月 2日 (月)	開 会	9:00
12月 9日 (月)	個人質問	9:00
12月10日 (火)		
12月11日 (水)		
12月13日 (金)	予 算 常 任 委 員 会	9:30
12月16日 (月)	福祉病院教育常任委員会	9:30
12月17日 (火)	市民産業建設常任委員会	9:30
12月18日 (水)	企画総務消防常任委員会	9:30
12月23日 (月)	閉 会	9:00

議会の傍聴は事前申し込み不要です。お気軽にお越しください。